

# Babel Street Insightsによる公衆衛生の改善

中世、シルクロードの商人たちは、当時のヨーロッパの人々の想像を超え、驚嘆する品々をもたらしました。絹、香辛料、紙、茶、そして1300年代半ばには、黒死病（ペスト）をもたらすことになりました。病気にかかったネズミに寄生するノミによって伝染したこのペストは、ヨーロッパの人口の30%から60%が命を落としました<sup>1</sup>。

今日の世界は中世とは比べものにならないほど往来が容易かつ頻繁になっており、国境を越えた伝染の機会が増大しています。COVID-19では、航空機による移動は、わずか数時間で病原体を大陸を越えて拡散させることを証明しました。商品や動物の国際取引は、鳥インフルエンザや豚インフルエンザを含む人畜共通感染症の世界的流行につながっています。気候変動に伴う気温の上昇は、蚊の生息可能な環境を広げ、ジカ熱やデング熱のような昆虫媒介性疾患の発生を増加させる可能性があります。

## オンラインで疫病の証拠を見つける

伝染病やパンデミックを阻止するための第一歩は、流行の始まりを察知することです。オープンソースインテリジェンス（OSINT）技術を活用すれば、疫学者や公衆衛生当局者などが感染症の発生を発見、追跡することができます。同時に、これらのテクノロジーは、専門家がSNSプラットフォーム上で極めて頻繁に伝播される有害な誤報や偽情報を発見する際に役立ちます。公衆衛生の専門家が偽情報の伝播に気づけば、相応の対応を取ることができます。

Babel Street Insights OSINTプラットフォームは、AIを活用し、言語横断的に何千もの世界的および地域限定の一般公開情報（PAI）の情報源を継続的に検索します。これらの情報源は200以上の言語の公開情報からなり、Insightsによって翻訳されます。また、情報源には、SNSプラットフォームや掲示板も含まれます。SNSを監視するためにBabel Street Insightsを使用することで、公衆衛生当局は、新たに出現または蔓延している伝染病やパンデミックを示す単語の使用量の急増を検出することができます。「咳」、「悪寒」、「発熱」、「流行」、「ICU」といった単語が監視対象となります。これらの投稿に表示されるジオタグを、一般的な健康追跡サイトの検索とともに調べることで、疾病の発生と蔓延を図式化することができます。また誤報のキーワードを検索することもできます。注目すべき用語は危機によって異なります。

## Babel Streetを使って疫病の蔓延を追跡する

鳥インフルエンザは2022年に初めて米国で検出され<sup>2</sup>、全米でおよそ1億6500万羽が死亡して<sup>3</sup>、結果として養鶏業界に混乱をもたらし、卵の価格が劇的に上昇することとなりました。このインフルエンザは牛そして人間にも感染し、これまでに少なくとも70人が死亡しています<sup>4</sup>。

公衆衛生調査官は、鳥インフルエンザの人への感染拡大の可能性について、どのようにPAIによる検索を活用するのでしょうか？

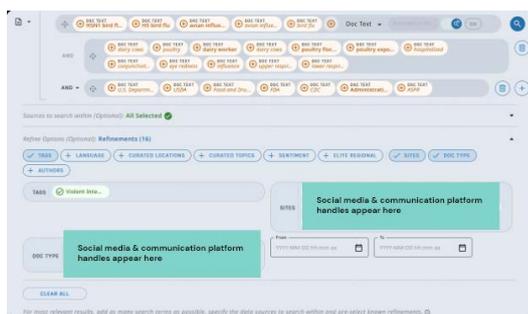


図1：鳥インフルエンザに関連する用語を用いた Insights検索条件指定

### キーワードを検索

Babel Street Insightsを使用することで、鳥インフルエンザのさまざまな病名、ならびに関連する健康症状や一般的な保菌者と共に検索することができます。さらに、これらの疾病の発生を制御し、一般の人々の認知を管理する責任を負う機関や部署について、具体的な言及を検索することもできます。時間や日付範囲で検索結果を絞り込むことができます。

